

「韓国と日本のかけはし」としての「李秀賢氏の事故後の20年の軌跡への 一考察

俵木はるみ（光云大）

1. はじめに

一人の青年の勇気が 世の中を動かししました。
死から抜け出せる時間 七秒
でも彼は電車の前に立ちふさがったのです。

二十六歳の大韓民国の青年が 一億二千万の日本人の心を動かししました。

愛する息子であり、いい友だち
そして夢多き青年

瞬間を投げ出し 永遠を得た義人 李秀賢
彼の律儀な魂は 生きて息しています。

彼が逝ってから 十四年が過ぎた今日。

今、私たちが彼を記憶する時です。
（高麗大学での14周年における追慕の詩より）

李秀賢氏の事故があった2001年には、日本と韓国の外交関係は教科書問題で揺れていた。前年度の韓日の国民意識協同世論調査では、韓国人の日本人に対する好感度が8%(97年度)から17%に、日本人の韓国に対する好感度も8%から20%に増加していた。1998年の金大中大統領と小淵首相の「日韓共同宣言」により両国の地方自治体や民間レベルでの交流事業も盛んになり始めていた。ところが日本の植民地支配を記述した教科書を「自虐史観」と批判した扶桑社が、2000年に「新しい歴史教科書」を作り文部省の検定通過する可能性があることが日韓の外交問題となった。韓国では政府に加え地方自治体や民間レベルでも日本に対する対抗措置に乗り出し、交流事業の中止を通告してきたりした。また2012年には李明博大統領が独島(竹島)を訪問し天皇の謝罪を要求した事をきっかけに、それまで匿名サイトやブログに閉じ込められていた「嫌韓」感情を一気に大衆化してしまったと言われるほど、日本人の韓国に対する好感度が前年度(11年度)の62%から38%へと激減した。2013年から14年にかけて、韓国を批判する「嫌韓」本が書店に並び、街頭では在日コリアンに対するヘイトスピーチが繰り返されるという状況が展開した。このように日本と韓国の関係は、常に歴史認識問題が外交問題と絡み合いながら、未来指向へ向かっていけない状態で滞ってきた。そのような状況のなかでも、李秀賢氏の遺志である韓国と日本の間をつなぐ「かけはし」は、20年間、変わることなく営まれてきた。ここでは事故後の20年間、李秀賢氏の遺志

がどのようなかたちで受け継がれてきたのかを調べながら、これからもその「かけはし」を未来世代につなげていくにはどうしたらいいのかを考察するのが目的である。

2 . 追悼

2- 1 . 追悼式

追悼式には、森喜朗総理、福田康夫官房長官、田中真紀子前外相はじめ一般市民千名余りが参席した。韓国の金大中大統領は追悼の辞で「故人の殺身成仁の犠牲精神は韓日両国の国民の胸深くに永遠に記憶される」と述べた。

周忌 (年度)	日 本		韓 国		備考
	場所	参加者	場所	参加者	
1 (2002)	東京	福田康夫官房長官、田中真紀子前外相、一般市民600名	一		
2(03)	東京	赤門会の学生、市民100名	一		
3(04)	韓日合同 (日本)	洪一植(前高麗大総長)、			
4(05)			釜山	洪一植、釜山市長、釜山教育監など400名、	
5(06)	東京赤坂プリンスホテル	麻生太郎、谷野作太郎、河村竹夫(韓日連盟)、田中真紀子(前外相) 300余名			
6(07)	韓日合同 (ソウル)	李秀賢財団設立発起式(李オリョン、森喜朗、村山富一)、市民700余名 映画「君を忘れない」試写会(天皇夫妻参席)			
7(08)	東京	日本に研修に来た韓国の学生が秀賢氏へ手紙朗読、120名	釜山	釜山市と教育庁が支援し、李秀賢 精神宣揚会が主管、	
8(09)	東京(新大久保)	奨学会関係者、市民	釜山	在釜山日本総領事、釜山教育監、母校の後輩30余名	
9(10)	東京(高田馬場)	奨学会支援者、留学生、90名	釜山	母校(高校)恩師、同窓生30名	日本岡田外相墓参
10(11)	東京(主婦会館)	李明博大統領と菅首相追悼の辞、河野洋平、田中真紀子参席、300余名	ソウル	文化体育部次官、日本大使館50余名	
11(12)	東京(主婦会館)	秀賢氏の日本での生活を演劇			
12(13)	東京(主婦会館)	奨学会関係者、市民 道徳教科書に李秀賢氏の話しが掲載され、小学校に招待を受ける。			
13(14)	新大久保駅	講演会、小学校訪問、			
14(15)	新大久保駅	韓国の研修生20名、			

15(16)	新大久保駅	韓国の研修生、日本の大学生 映画 ' かけはし ' 上映と交流会			
16(17)	新大久保駅	韓国の研修生、奨学会関係者			
17(18)	新大久保駅	韓国の研修生、奨学会関係者			
18(19)	東京(駐日韓国大使館韓国文化院)	映画 ' かけはし ' 上映300名	ソウル(駐韓日本大使館広報文化院)	映画 ' かけはし ' 上映、150名	3/21父・李盛大氏亡くなる
19(20)					
20(21)	韓日合同 (

* 追悼式に関する表は新聞記事を参考に著者が作成

3周忌(2004年) 釜山のヨンラク公園にある李秀賢氏の墓を訪れる日本人が跡を絶たず、花籠だけでなく透明ケースに入った千羽鶴を捧げていった人もいる。又、日本人の篤志家の小島良治郎氏(77)が「李秀賢氏の勇気ある犠牲に対し感謝を捧げたい」と韓国の総領事館に伝えて、李秀賢氏の母校であるナクミン小学校に李氏の胸像と追悼の碑を建てることになった。

8周忌(2009年) 日本の総領事が「義人のおかげで韓日両国の交流の行事が新しい領域に拡大している」とし、「これは両国の相互理解と友好増進に大きく寄与している」と追悼の辞で述べた。

李氏の墓を訪ねるのは今回で4回目という高山氏は「日本人はこの方を英雄だと思っている」と述べ、「あの行動は当時の日本を衝撃に追い込み、その後、日本でも義人のように他の人を救おうとする事例が続けてあった」と語った。

10周忌(2011年) 東京新聞は、1月16日の一面で「李氏の信念と勇気を伝えていく」という題名の記事で、「李氏の精神は日本人の韓国に対する見方を大きく変えて、'韓流ブーム'のベースを作った」と評した。

14周忌(2015年) 日本政府は、息子の遺志を受け継ぎ日本語を習い、奨学金授与式や韓日民間交流を推進してきた功労を認め、李秀賢氏の父親である李盛大氏に旭日章を授与した。

2019年3月21日 李盛大氏の訃報に日本での追悼式が行われ80名余りが参席し、最後の道を共に慰労した。河野太郎外務大臣は「李秀賢氏の勇気ある行動に、多くの日本人は感動した。(父君と息子さん)お二人の遺志のともしびが消えることなく、これからもとし続けていく決意を新たに誓う」というメッセージを送った。

20周忌(2021年) 追悼会に先立って、新大久保駅にある追悼の碑に頭を下げる3人の姿があった。赤門会の新井理事長、映画 ' かけはし ' の演出家の中村氏、奨学会が始まった2002年からずっと寄付をしている山本弘子氏だ。山本氏は「献身と配慮には国境がないことを教えてくれた。それに感謝して寄付を続けている」という。新大久保駅があるJR東日本は、奨学会の会報に広告費として一千万円を支援しており、日本航空は両親の渡航費を毎年、支援している。

2-2. 追慕の文化活動

文化活動として、出版、映画の他にもコンサートや音楽会など多数催された。

2-2-1. 出版

日本では李秀賢氏の母、辛潤賛氏が「息子よ！韓日に架ける『命の橋』」2001年2月28日に執筆して出版したが、他にも童話、詩集など数多くの書籍が出版された。20周年記念事業として、2021年1月26日に(社)釜山韓日文化交流協会は、李秀賢の一代記を記した評伝「李秀賢、一月の陽光」を出版した。

2-2-2. 映画

2007年に李秀賢氏が日本に来てから事故までの姿を描いた映画「あなたを忘れない」が韓日合同で製作された。日本では試写会に天皇夫妻が参席し100人を越す取材陣が集まり、全国180個所で上映された。しかし韓国での反応はなく、試写会で言論人や映画関係者は殆んど見られなかった。

2017年2月からドキュメンタリー映画「かけはし」が日本全国15の地域で上映された。「かけはし」とは、途絶えた橋の両側をつなげることである。構成は二部からなっていて一部は関係者達が事故当時の状況と李氏の日本での生活を回想する場面、事故後に李氏の両親と奨学会がしてきた活動、奨学金をもらった留学生の姿を映し、二部は韓日の国交正常化50周年を迎えた2015年、日本を訪問した韓国の大学生が日本人と交流して、李氏と縁のある地域を訪問する旅程を追っている。演出の中村里美氏は、「誰でも国籍や民族を越えて、国と国、民族と民族をつなぐ「かけはし」になれるという意味で、題名をつけた」と話した。

3. 韓国と日本の交流事業

3-1. 李秀賢記念事業

李秀賢記念事業は、日本国際交流基金ソウル文化センターが、(社)韓日協会、高麗大学の日本研究センター、(社)釜山韓日文化交流協会、駐チェジュ日本国総領事館などの韓国の機関と協同で実施している事業である。日本語を学習している韓国の青少年を日本に招待し、研修旅行を通して日本の社会、文化、日本語に対する理解を深め、日本の青少年との交流する機会を提供するものである。この事業は2002年から始められ2022年1月17日から28日までの11泊12日間の研修で21回目を迎える。募集人数は、12回目の時は30名と最も多かったが、21回目は17名である。

3-2. ピース登山隊

2002年7月に雑誌「プラザ・プラザ」の中村さとみ氏が主宰して、韓国と日本の架橋になりたいという李秀賢氏の遺志を継いでいくという目的で、故人が2001年に山岳自転車で登った富士山に李秀賢氏の遺影をもって留学生と日本の市民60名が登った。2003年には、奨学会と一般の日本人20人と高麗大学の後輩や家族、親戚、山岳人などの韓国人40人が、韓国のチェジュドウにあるハンラ山に登った。2006年には、14名の日本人と李秀賢氏の出身高校の教師や後輩と釜山外国語高校の学生40名が参加した。

3-3. 義人李秀賢精神宣揚会

追悼式も日本を中心に行われてきたが、故郷である釜山でも教育関係者が中心となって義人李秀賢

精神宣揚会が2005年から活動を始めた。故人の母校であるネソン高校での追悼式、故人の勇気なる行為を宣揚するための作文大会を2005年から5年間行い、その作品集『あなたを忘れない』を出版し、10周年忌の時に故人の遺品展示会をした。しかし2012年から釜山市で毎年行われていた「義人、李秀賢 精神宣揚作文大会」が予算の関係で、開催されなかった。

3-4. 美しい青年 李秀賢の集い

(社)釜山韓日文化交流協会が2010年5月に、韓国と日本の大学生たちが参加する「美しき青年 李秀賢モイム(略称アイモ)」の初めての交流会をした。これを企画した河スッキョン事務局長は、「これまで日本では故人を追慕する多様な行事が多く行われてきたが、むしろ故郷である釜山では不足していた」とし、釜山にいる日本人留学生と釜山地域の大学生を中心に50人余りの集まりを結成した。プログラムは追慕行事に続いて、映画「あなたを忘れない」のパンフレットの配布、「21世紀の韓日関係において若者たちの役割」について討論した。参加した韓国の学生の李ヒョンジュ氏は、「故人が亡くなって10年経ち韓国人の間でも忘れられようとしているこの時に、このような行事を通してもう一度、考えることができてよかったし、永遠に記憶されることを願う思いだ」と話した。アイモは、李秀賢氏が残してくれた「国境を越えた愛」を韓日間の交流に実践できるよう、様々な行事を企画している。

4. 奨学金事業

4-1. LSHアジア奨学会

LSH(李秀賢のイニシャル)アジア奨学会は、「母国と日本の架橋になることが目標だった息子の意志をついで、日本で勉強している就学生を支援する奨学金を作るために役立てほしい」という李秀賢氏の両親の気持ちを赤門会の新井理事長が受けて、2002年の1月26日に発足した。事故直後から赤門会日本語学校に、また新聞社に日本全国から募金が寄せられ、そのうちの一千万円を両親が奨学会に寄付した。日本に来て勉強している学生のうちでも、大学に在学している留学生は様々な恵沢を受けることができるが、日本語学校に通っている就学生は奨学金はもとより電車の定期券の学生割引すら受けられないという。李秀賢氏も高麗大学4年の一学期を終えて、就学生としてアルバイトをしながら生活していた。2002年の第一回目の時は93名の就学生に30万円ずつ渡されたが、第2回目からは56名に10万円ずつ渡されている。選抜された就学生の国籍は、韓国、中国、インドネシアなど18ヶ国にわたり、2021年までの20回にわたり一千人余りの就学生に奨学金が渡された。これまでの20年間の奨学会の運営は、日本の320名の一般市民からの募金と両親の寄付で続けられている。

4-2. 高麗大学の奨学金

高麗大学のセジョンキャンパスでは2003年から毎年5月に追慕式が行われ、両親が寄付した一千五百万円を基金として在學生に奨学金を伝達している。追慕式は高麗大学の経営学部とグローバルビジネス学科の各学生会と故人が所属していたロックバンドクラブ「無断外泊」が準備し、現在まで行われている。追悼式、お焼香の場所設置、慈善募金、追慕公演などが数日間にわたって行われる。8周年忌からは李秀賢氏の映画「君を忘れない」の上映もされ、コロナでオンライン授業が施行されていた

ときにも、19周忌(2020)、20周忌(2021)の追慕式は中断することなく行われた。会ったこともない故人のために準備した彼らは何を感じたのだろうか。「公演のために先輩が好きだった曲を準備しながら、生前に同じ曲を演奏された先輩には直接に会えなかったけれど、身近に感じることができました。」(18周忌の追慕公演を準備した学生へのインタビュー)

奨学金は毎年2名の学生(グローバルビジネス学科とロックバンドのクラブ)に渡されてきた。2021年に奨学金をもらった二人の学生へのインタビューである。「先輩が生前によく口にしていた『自分より弱い立場にいる人や危険な状況にある人を助ける、それが大韓民国の健康な青年としてできる最も美しいことだ』という言葉を実践できるよう努力する後輩になります。」(ファン・ユジョン氏)「先輩がいてくださったから、これまで他の人をまず考える大学生活をしてこれました。これから先輩が残していかれた崇高な犠牲精神とその勇敢な姿勢を忘れずに生きていく人材として成長していきます。先輩、ありがとうございます。」(ヤン・テウオン氏)

4-3. ネソン高校の奨学金

故人の母校であるネソン高校では両親が寄付したものを奨学金として伝達している。

5. '李秀賢義人文化財団'の成立過程とその限界点

二周忌まで追悼会は日本で行われたが、韓国から公式的に参加する団体がなかった。三周忌の一ヶ月前に'李秀賢追慕事業会'は、韓国と日本で其々共同委員会を構成し発足した。四周忌の追悼会は韓国で初めて行われ、'李秀賢財団設立委員会'が発足した。七周忌の追悼会で'李秀賢財団'の概要が示された。設立目的は李秀賢氏の殺身成仁の精神を韓日の友好協力と共生の精神として定着させることとし、事業としては、義人賞の授与、義人記念館の建立、義人及び遺族への支援と子女への奨学金とした。顧問には李御寧(前文化部長官)、村山富市(前首相)、実行委員長は李의근(대신대 総長)である。十周忌の時に'李秀賢文化財団'として、青少年の人性教育、義人発掘、韓日友好交流の計画などを提示した。韓日修好70周年の2015年に姜ジオン委員長(弁護士)が、「韓日の善隣の架橋の役割をし、李義人の犠牲と譲歩精神が両国に広く種として蒔かれることを希望する」とし、財団の出航を宣言した。

財団を設立しようと十年以上も産みの苦しみが続いているようである。新聞記事の細切れ記事では見えない部分が多いので、直接に当事者の方々に会ってお話をうかがう予定である。(11/3이수현씨 어머님과 아카몬카이 사무국장님을 만나기로 했습니다.)

5. おわりに

日本と韓国では李秀賢氏に対する見方が違うという事があるようだ。日本では奨学会に寄付している人たちは、20年間続いている人が多いという。また熊本県の在日コリアンの集まり'木槿(ムグンファ)の会'は、毎年、故人の忌日に追慕会を行っている。これらは一般の市民が自発的に行っている。「日本人はこの方を英雄だと思っている」と話す4回目の墓参りに来た高山氏、「李氏の精神は日

本人の韓国に対する見方を大きく変えて、'韓流ブーム'のベースを作った」と掲載した東京新聞。

一方、韓国での追慕の行事は途絶えている現状がある。2011年まで釜山市で毎年行われていた'義人、李秀賢 精神宣揚作文大会'が予算の関係で、開催されなかった。また韓国では故郷である釜山だけで事業が展開されている。

今の私にできることは、日本と韓国のかけはしとして李秀賢氏を、日本語を学ぶ学生達に伝えていくにはどうしたらいいのかということである。多くの方の知恵を聞いて共に考えていきたい。